



# 10月のほけんだより



みなみひの保育園 平成29年10月1日発行

ようやく秋風を感じるようになりました。

朝夕の寒暖差のためか、体調を崩す子どもたちもいます。これから様々な感染症が心配される季節になります。今から体調を整え、感染症予防に心掛けましょう。

## インフルエンザ 予防接種 Q&A

かぜよりも症状が重く、感染力も強いインフルエンザ。0、1、2歳児がかかると、肺炎やインフルエンザ脳症を引き起こすことも。予防接種を受けておくと、万が一かかっても軽い症状で済むので安心です。

**Q 去年インフルエンザの予防接種を受けたので、今年は受けなくてよい？**

**A** 原因になるウイルスには、主にA型、B型、C型の3つがあり、年によって流行する型が違います。A型B型がよく流行しますが、毎年予防接種を受けることで、効果が期待できます。

**Q 受けるとインフルエンザにかからないの？**

**A** 必ず発病を防げるというものではありませんが、かかっても重症化したり、合併症を起こしたりするリスクを減らすことができます。

**Q 予防接種の効果が続く期間は？**

**A** 接種後、効果が現れるまでに約2週間かかり、その後半年くらいは持続します。

**Q 接種の方法は？**

**A** 生後6か月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種が必要。1回目の接種の後、2～4週間あけて2回目を接種します。ただし卵アレルギーがある子は、医師と相談しましょう。

**Q いつごろ受けたほうがよいの？**

**A** 最も患者数が増えるのは1月～2月ですが、流行は12月ごろから始まります。それまでに免疫をつけておきたいので、1回目は10月後半ごろ、2回目は2～4週間後に接種しましょう。

## 子どもがかかりやすい目の病気

ものもらい

結膜炎

ブドウ球菌による炎症。不潔な手で目をこすると感染する。まつ毛の根元が赤く腫れて痛む。重症化した場合は切開して膿を出すことがある。

細菌性、ウイルス性、アレルギー性のものがある。目やに、充血、かゆみ、涙目、などの症状が出る。アレルギー性であっても二次的に感染しやすいので、抗生物質の点眼薬を処方されることもある。



～こまめに爪切りを～

爪が伸びていると、思わぬ怪我や爪割れの原因になります。また、爪の間にバイ菌が繁殖し不衛生にもなります。お子様の爪はこまめに切りましょう。ただし、深爪には十分ご注意ください♪



～4歳児視聴覚検診～

ご協力ありがとうございました。  
結果は後日お知らせします。

